

## 授業科目

## 保健医療福祉機器の世界

【担当教員名】 貝淵 正人	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・spo・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## 【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○

## 【概要・一般目標：G10】

医療と福祉と介護について考え、それをサポートする機器について体験により理解する。

福祉機器を利用することで起きる問題点を理解する。

保健医療福祉機器と ICF の中の環境要因の関係を理解する。

## 【学習目標・行動目標：SBO】

- 1 福祉機器の概説を述べることができる
- 2 ADL における福祉機器の有効性を述べることができる
- 3 具体的な福祉機器をあげることができる
- 4 福祉機器の操作を体験する
- 5 住環境の改善点を指摘することができる
- 6 福祉用具に積極的にさわり操作や注意点を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	現代の福祉機器概説 ICF の中の福祉機器	1	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
2	自助具とは 障害はどう適応させるか	1.2. 6	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
3	排泄関連福祉機器	2. 3. 4	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
4	移動関連福祉機器	2. 3. 4. 6	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
5	姿勢保持装置・杖	2. 3. 4	講義 貝淵、担当：貝淵 正人
6	住環境	5	
7	義肢・装具	3. 4	
8	まとめ		担当：貝淵 正人

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	福祉用具専門相談員研修用テキスト	シルバーサービス振興会編	中央法規	2010・3, 675 円
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席、レポート、期末試験など	【履修上の留意点】 さまざまな福祉用具をお見せしますので、積極的に参加するように
--------------------------	---